

右之通江戸御屋敷中之口御役所へ差出し  
委細之義茂口上ニ而申上置候  
年初ノ行事トシテ

### 『表紙解説』

日本一豊後二見ヶ浦の大注連縄しゆなわ

大分県南海部郡上浦町浅海井の「豊後二見ヶ浦」の男岩と女岩とにかかっている大注連縄は、長さが六十五メートル、最大直径七十センチ、重さが二トである。(一九九四年ギネスブック掲載)日本一で上浦町のそして日豊海岸国定公園のシンボルとして有名になった。

この注連縄は昭和四十四年、町内の草野球チーム「上浦ファイターズ」のメンバーが観光PRにと始めた。昭和五十二年から上浦町商工会が町の委託を受けて続けている。以前は直川村・野津町等までワラを取りに行っていたが、平成七年から姉妹町である萩町より前日にトラック(四ト車)でワラを搬入してもらい、毎年十二月の第二日曜日に注連縄を作り、夫婦岩に掛け替える。萩町との交流事業として、萩町と上浦町の小学生による「もちつき」と「しめ縄張替に挑戦」の行事も行う。

右之通江戸御屋敷中之口御役所へ差出し  
委細之義茂口上ニ而申上置候

新春には東雲中学校裏や国道二二七号から、男岩と女岩の間から昇る初日の出の参拝客でにぎわう。平成六年度より年末年始(今年は十二月二十四日より一月四日)に夜間ライトアップが行われており、時間は十八時三十分より二十時まで、大晦日はオールナイトで午前七時まで行う。初日の出の参拝者には上浦町商工会青年部より、甘酒・ぜんざいの無料配布(二月一日の午前六時頃より)を行う。駐車場は東雲小中学校グラウンド、中央公民館、マリノボリス記念公園等がある。今回は二〇〇〇年記念として行事が行われた。

今年の上しめ縄張り替は、十二月十二日(日)午前八時より約二百五十名が参加し、午後二時に完成し神事の後張り替え始め、四時には終了した。

解説と写真提供 山本正直

71頁に夜景写真掲載